

【社会貢献部会の活動報告】

## 2016年「子ども霞が関見学デー」に出展

「子ども霞が関見学デー」は、中央省庁等が業務説明や省内見学会などを行い、関連する団体が様々な体験プログラムを用意する、子ども向けの体験型イベントで、平成9年から毎年行われています。今年も、夏休み期間中の7月27、28日に開催され、本学会も環境省の会場（合同庁舎5号館）に初めて出展しました。

ブースには「音ってなんだろうーいろいろな音の体験ー」をテーマに、音の出るおもちゃを手にとって遊べる“体験コーナー”とストロー笛の“工作コーナー”を設けました。素朴なおもちゃに興味を持ってもらえるのか不安もありましたが、「これはどうやって使うの?」「私も作りたい!」と、次々に子どもたちが来てくれました。引率の大人も音の出る仕組みなどの話に熱心に聞き入っていました。体験をとおして手作りの楽しさ、音や振動の面白さが少し伝わった気がします。展示したおもちゃは、当部会の委員が苦勞して手作りしましたが、子どもたちに楽しんでもらえて準備した甲斐がありました。



ブース全景（準備中）



体験コーナー  
糸電話、牛乳パックギターなどなど



ストロー笛



ガリガリとんぼ



ペットボトルの打楽器



グラスハーブ

展示したおもちゃ



ばね電話の不思議な音にびっくり  
ピュン、ピュウン



「ア〜！」ときどき回る子がいた声コプター



鳴らすのにはちょっとコツが要ります



ビュンビュン回す上手な子もいました



体験コーナーには男の子、工作コーナー  
は女の子が多かったようです



はぐクン



ゴーヤン

ゆるキャラが次々に登場